

# 証券市場新聞

1 第131号

日経平均株価

2万2171円35銭

▼30円47銭(前日比)

TOPIX

1749.17

▲1.72(前日比)

2018  
6/4  
月曜日

発行元 ココ・パートナーズ株式会社

〒542-0081 大阪市中央区南船場3-7-27 NLC心斎橋ビル6F

TEL 06-6105-1904 FAX 06-7635-7861

marketpress.jp



気象庁の向こう3  
カ月(6~8月)の

暖候期予報では、太  
平洋高気圧とチベッ

ト高気圧が日  
本付近に張り

出すと予想さ  
れ、二つの高

気圧が西日本  
付近で重なる

## エアコンや飲料、冷菓など

米国の通商政策が依然不透明なかでは、物色の方向性は内需関連株が選好される傾向が強くなりそう。そのなかでシーズンの注目したいのが猛暑に絡む関連銘柄。既に5月は春ながらも連日猛暑を思わせる日が多く、6月は梅雨入りで蒸し暑い日が続く、その先は例年以上の猛暑が予想される。暑い夏となれば、エアコンや飲料はもとより様々な需要を喚起するだけに、恩恵を享受する内需関連企業をシーズンストックとして先取りしておきたい。

## 猛暑関連を先取る!

### 平年より気温高い確率は50%

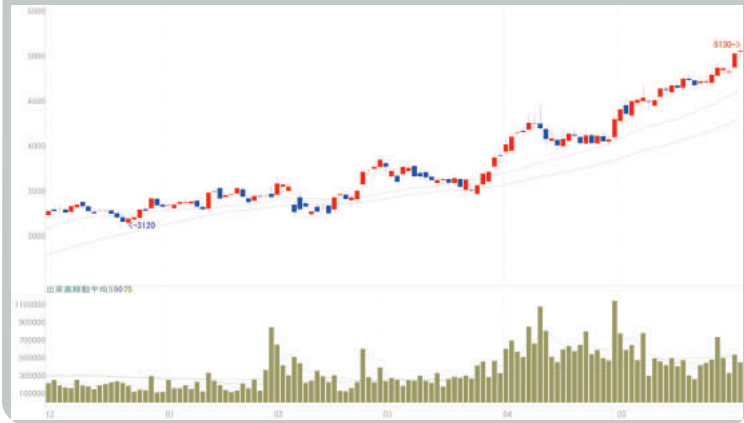
今年の夏は例年より暑い  
ともあるとし  
ている。東日  
本、西日本と

も平年より気温が高  
い確率は50%として  
おり、今年の夏は猛  
暑となる可能性が高  
そうだ。

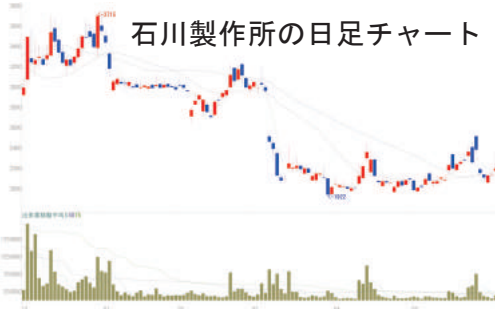
猛暑に絡む消費関  
連の筆頭はやはりサ  
ッポロホールディン  
グス(2501)や  
アサヒグループホー  
ルディングス(25  
02)、キリンホー  
ルディングス(25  
03)のビール大手  
3社。この数年は高  
アルコールド度数の製

品を各社投入するな  
ど新たな需要喚起も  
図っており、B・R  
サーティワン アイ  
スクリーム(226  
8)や江崎グリコ(2  
206)、森永乳業  
(2264)、明治ホ  
ールデ  
ィング  
ス(2  
269)  
など冷  
菓を扱  
う食品  
メーカー  
を含  
めてシ  
ーズン  
ストッ  
クとし  
て見逃  
せない。  
猛暑  
が予想  
されれ  
ば、早  
めに購

日経平均日足チャート



入の動きになりそう  
なのがエアコンで、  
ダイキン工業(63  
67)や富士通ゼネ  
ラル(6755)、  
三菱重工業(701  
1)のメーカーや空  
調部材で強みを持つ  
因幡電機産業(99  
34)や、セントラ  
ル空調機器でシエ  
4割弱を占める新晃  
工業(6458)など  
、業務用空調でも  
特需が期待されそう  
だ。



石川製作所の日足チャート

# 防衛関連値崩す

## 米朝首脳会談改めて開催へ

崩した。トランプ大統領が米朝首脳会談を改めて目指す方針を示し、政府担当者が事前協議を行うため北朝鮮入りしたことが伝えられたこと

28日、石川製作所(620)や豊和工業(620)など、細谷火工(427)など、防衛関連が値を

### 今週の動意銘柄

から地政学リスクが後退して手仕舞い売りを浴びた。

#### シヤワース高で新値

28日、スペースシヤワース高で新値(4838)が急伸、ストップ高まで買われ約4カ月ぶりに年初来高値を更新した。25日取引終了後、インフルエンサーを利用したメディアプロモーションを主業とするGROVE(東

京都・渋谷区)の株式を取得し、持ち分法適用関連会社化すると発表したことが買い手掛かりになった。GROVEの持つSNSマーケティングのノウハウや機能を活用することで、既存事業の拡大と新しいコンテンツIP開発が可能になり、海外展開も期待できることから、株式取得を決めたとしている。

#### イワキ利益増額

28日、イワキ(8095)が急伸。18年11月期の連結営業利益を14億円から16億8000万円(同1.8%増)へ上方修正した。医薬・FC事業で4月の薬価改定によるマイナス影響がある中、基礎的医薬品の認定による収益のプラス効果など、医療用医薬品がびている。

## JDI大幅安で最安値

29日、ジャパンディスプレイ(6740)が大幅続落、上場来安値を更新した。

後半以降、ほぼ一本調子の下落が続いており、見切り売りがかさんだ。

#### 澤藤電水素製造高出力化

29日、澤藤電機(6901)が急反発、一時ストップ高まで買われた。岐阜大学と共同開発中のプラズマを用いた水素製造装置「プラズマメ

29日、澤藤電機(6901)が急反発、一時ストップ高まで買われた。岐阜大学と共同開発中のプラズマを用いた水素製造装置「プラズマメ

ンブレリアクター(PMR)の高出力化に成功したと発表。アンモニアから99.99%の高純度水素を毎時150NL製造の高純度水素を毎時385NL精製することが可能になったという。今後、毎時500NLまで出力を高め、2020年に水素ステーション、燃料電池発電機、半導体製造プロセス、モビリティ向

## 正直じいさんの株で大判小判

1日の東京市場は前日のニューヨーク市場でダウが一時300ドル超の大幅安になったにもかかわらず、底堅い動きでしたが、引け値こそ小幅に反落しました。日銀から国債才へ減額が発表された後、これが全般イタリア政見た後に再安視されて0円台を維持懸念は後退ジャリスQれに絡む売りも倒して出たと見重くても大きなピックアップ(5301)、ソ3)が堅調です。短期値幅取り候補はまちまちの動きながら、いずれも上昇基調をキープしており、より強い銘柄に資金をシフトです。

1日の東京市場は前日のニューヨーク市場でダウが一時300ドル超の大幅安になったにもかかわらず、底堅い動きでしたが、引け値こそ小幅に反落しました。日銀から国債才へ減額が発表された後、これが全般イタリア政見た後に再安視されて0円台を維持懸念は後退ジャリスQれに絡む売りも倒して出たと見重くても大きなピックアップ(5301)、ソ3)が堅調です。短期値幅取り候補はまちまちの動きながら、いずれも上昇基調をキープしており、より強い銘柄に資金をシフトです。

### 目先大きな波乱はない



花咲翁

#### 日本製紙最終赤字転落

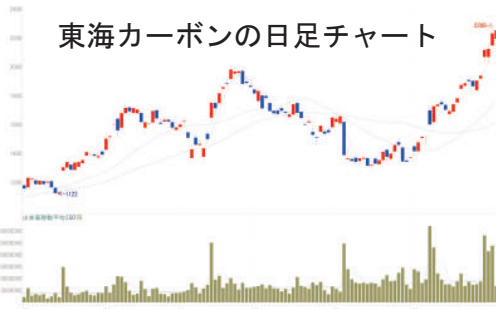
29日、日本製紙(3863)が急反落、2カ月ぶりに年初来安値を更新した。非開示としていた19年3月期の連結業績を発表、洋紙事業の生

産体制再編に伴う固定資産減損損失などの特損200億円を織り込み、最終損益180億円の赤字(前期78億4700万円)の黒字)転落を予想したことを嫌気。損益悪化に伴い年間配当を30円(前期60円)に減配する。

# 東海力3連騰で最高値

## TCCK社効果で上方修正

29日、東海カーボン(5301)が3連騰、最高値を更新した。18年12月の連結業績予想の修正を発表、売上高を1940億円から2040億円(前期比92・0%増)、営業利益を637億円から657億円(同5・7倍)、純利益を48億円から686億円(同5・8倍)



へ上方修正した。TCCK社の売上高を6

TCCK社の売上高を6月度より織り込むことが寄与している。

### レオパレス施工不備

30日、レオパレス21(8848)が急落、年初来安値を更新した。全棟調査の過程で同社施工物件の一部で建築基準法に違反の疑いのあるものが発見されたと発表。今確認された施工物件は、鉄骨ブレース工法と木造軸組み工法の物件であり、小屋裏の境界施工が必要でありながら、境界を施工していないか、または施工が不十分だった。

### 6月は最大分岐点

先週の東京株式市場は続落しました。イタリア、スペインの政局問題が浮上。5月30日には75日移動平均線まで下落する局面がありました。

先々週は週足が陰線包み足の売り線が出現。先週は26週移動平均線を割り込み、13週線のところまで下げてきました。5月の月足は反落し陰線形成。年明け以降本年相場はこれで月足1勝4敗です。

足元の注目材料は米朝首脳会談が開催されるのかどうか、非核化が実現できるのかどうかです。その結果によっては世界のストックマーケットが上にも下にも大きく反応することになりましょう。

6月相場は好結果によって崩れたテクニカルチャートを修復できるのか、逆に最悪の結果により、世界的な急落の流れに突き進むのか、米朝関係の結果により年後半の流れが決まるように感じます。

日々勇太郎



### 転ばぬ先のテクニカル

## アズワン(7476)

### 企業観察

## eコマースで成長加速



アズワン(7476)が5月22日に大阪市西区の本社で決算説明会を開催、井内卓嗣社長(写真)は「eコマースの加速や海外売上、新規商材などに注力する」とし、2020年3月期を目標最終年度とする中期経営計画での連結売上高700億円から、その先の1000億円達成に意欲を見せた。M&Aにも取り組んでいく方針で攻めの経営が評価される。

19年3月期については、通期連結売上高で658億5000万円

## 売上高1000億円達成に意欲

(前期比8・0%増)、営業利益で75億2000万円(同14・0%増)と売上高で8期連続過去最高、営業利益で3期連続で過去最高を見込む。eコマース(集中購買)のOceanは18年3月期末で導入先が135社となり、今後は中規模ユーザー向けにディラーOceanを開発し、更なるeコマースの拡大を目指す。

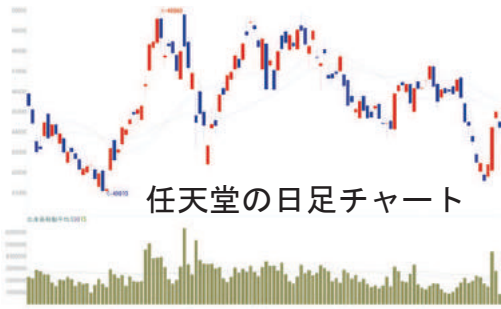
今年2月に独自開発WEBシステム「Office Side」による購買業務代行サービスを主な事業とするトライアンフ・ニジユウイチを傘下に収めたが、更なるM&Aにも意欲を見せている。

## 保土谷欧州不安の標的

30日、保土谷化学工業(4112)が急落で年初来安値を更新した。同社は5月21日にドイツ・デュッセルドルフ市に、現地法人を設立することを発表していたことから、イタリアに端を発した欧州不安で全般相場が値を崩すなかで同社株も売りのターゲットにされたようだ。

### UMNはストップ高

30日、UMNファーマ(4585)がストップ高。塩野義製薬(4507)との提携で定められた成果達成状況に基づく、第1回マイルストーン条件を達成したと発表した。塩野義薬とはヒト用感染症予防ワクチンなど創薬基盤技術整備、新規開発候補の基礎的研究を共同で進めており、今12月期2Qのマイルストーンを受け取る。



任天堂の日足チャート

ト「ポケモンクエスト」配信発表を発売、これを好感した。ニンテンドースイッチとスマートフォンとのマルチプラットフォームとしており、詳細が注目される。

# 任天堂が気を吐く

## 「ポケモンクエスト」配信発表

任天堂30日、(7974)が逆行高、全般急落地合いのなか、吐いた。この日、Twitter上でダウンロードソフト

任天堂が「ポケモンクエスト」の配信値を上げていることから、任天堂のゲーム機向けLSIを手掛けるメガチップス(6875)も反発、見直し買いを誘った。2970円の年初来安値を付けていたことから値頃感が高まっていた。

# ACCESSは営業赤字

31日、ACCESS

(4813)が急落。

19年1月期の第1四

半期(2~4月)連

結決算を発表、売上

高16億1900万円

(前年同期比6.9%

減)、営業損益は1億

6600万円の赤字

(前年同期1200万

円の黒字)、最終損益

は1億7000万円

の赤字(同3200

万円の赤字)と赤字

決算となったことが

嫌気された。IoT分

野の減収や製品開発

投資に伴う減価償却

費の増加などが圧迫

している。

通期は売上高82億

円(前期比3.4%増)

営業利益5億円(同

20.9%増)、純利益

3億7000万円(同

49.8%増)と従来

見通しを据え置いた。

## 東海力連日最高値

31日、東海力

連(5301)が続

騰、連日で最高値を

更新した。5月8日

の1Q決算発表時に

続き、28日に韓国東

海カーボンの連結子

会社化による段階取

得差益の発生を踏ま

え、18年12月期通期

予想を上方修正した

ことが人気に拍車を

かけた。黒鉛電極の

需給がひっ迫、販売

増と価格上昇を背景

に、連結営業利益6

57億円(同5.7

倍)、最終利益68

6億円(同5.8倍)

を見込む。PERは

6倍台と割安感が強

く、一段の上値追い

へ期待が強い。

## ◎株は底値買で大きく取るべし・門外不出の大伸流底値買成功法あり

◎日経平均に関係なく最近の底値買指示銘柄例(よくお調べください)(5月28日)

住友不動産 →2500円前後買(本紙上予告ずみ)→4480円に上昇、今後は?

千代田建設 →550~600円買(本紙上予告ずみ)→1150円に上昇、今後は?

大日本住友薬 →1400~1500円買(本紙上予告ずみ)→2260円に上昇、今後は?

大太平洋金属 →3000円買以下買(本紙上予告ずみ)→4080円に上昇、一服後一段高へ

コニカミノルタ →900円前後買(本紙上予告ずみ)1030円に上昇、一服後一段高へ

富士通 →6500円以下買(本紙上予告ずみ)6978円に上昇、一服後一段高へ

大崎電気 →750~770円買(会員指示)876円買に上昇、一服後一段高へ

◎当社の基本は大局倍化、当面5~6カ月50%高前後目標の投資の王道なり(迷える投資家は試見)

論より証拠・上記の如く底値大幅予想のお試し銘柄をお知らせします。(自信あり)返信切手1000円要

田舎の名医が目標なり(会員のみ知る) (実績40年)金融商品取引業者 登録番号 東海財務局長(金商)第45号(一般社団法人)日本投資顧問業協会会員

**大伸経済研究社** 会費1ヶ月50万円、2ヶ月80万円(継続同額)(税込) 公表銘柄は一例であり全てではありません

(会費が高い少数の会員制なり)(広告参照) 目標値は当社独自の分析による予想値です

(1年後の成果に自信ありお試しください) (電話等による入会勧誘は一切致しません)

電話058-243-5690(午前8:30~11:00) 有価証券の運用には、価格変動リスク、株式発行者の信用リスク、流動性リスクがあります。運用の結果、元本を割り込み、損失を被ることがあります。リスクに関して詳しくは契約締結前の書面をご覧ください。

〒501-3144 岐阜市芥見大般若2-25-2 [インターネットでの資料請求はここをクリック!](#)

**企業観察** 三社電機製作所(6882)

**収益力強化へ中計に着手**

三社電機製作所(6882)は最終年度の21年3月期に連結売上高280億円(前期実績比18%増)、営業利益25億円(同70%増)を目指す中期経営計画に着手した。売上高営業利益率は6・2%から8・9%に高まることになり、収益力強化に重点を置いて付加価値商材の取り扱いを強化、海外を含めた成長市場を開拓する方針で、ソリューションビジネスも強めていく。半導体は産業用機器の小型化・高効率化ニーズに対応してSiCモジュールを量産、トランスファーマーモジュール製品の品揃えを拡大するとともに、サイリスタ、高速ダ

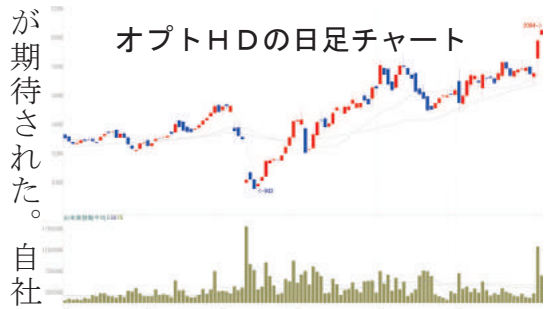
**付加価値商材で成長市場開拓**

イオードの新製品開発を加速して、サーボ・汎用インバータ、溶接機など成長業界への取組みを強める。電源機器は燃料電池用・蓄電池対応パワーコンディショナやリチウムイオン電池素材など新エネルギー・EV関連製品を強化、「外部とのアライアンスも視野に入れてEV/FCV分野への展開を模索する」(会社側)考え、海外は金属表面処理用電源、溶接機の地産地消を進め、中国、アジアを中心に北米や欧州市場も開拓していく。ソリューションビジネスは問題を解決するための提案で、ユーザーとの連携をさらに強固にする。

31日、ラクスル(4384)が東証マザーズに新規上場、公開価格1500円を9・7%上回る1645円で初値が生まれた。印刷と集客支援のシェアリングプラットフォーム「ハコベラックスル」を中心とした印刷事業、物流のシェアリングプラットフォーム「ハコベラ」を中心とした運

31日、住友大阪セメント(5232)が大幅反発。同社は30日の取引終了後、自己株式取得枠の設定を発表したことが材料視された。上限2000万株(発行済株式総数に対する割合4・93%)、または120億円で、取得期間は5月31日から9月28日まで。

31日、オプトホールディング(2389)が続騰、東証1部値上がり率トップで最高値を更新した。この日、16・26%の株式を保有するラクスル(4384)が東証マザーズに新規上場したことが材料視された。同社はラクスル株式を当面継続保有する予定としており、含み益拡大



**オプトHD値上りトップ**  
ラクスル上場で含み益に期待

**京都市内でシェアサイクル**

**大和ハウス工業**

**京阪電鉄など3社連携で**

大和ハウス工業(1925)傘下の大和ハウスパーキングとオーシヤンブルースマート(東京都板橋区)、京阪ホールディングス(9045)傘下の京阪電気鉄道の3社は6月1日から京都市内で、こころ結び型シェアサイクルサービス「PiP PA(ピッパ)」を開始した。「PiP PA」は、GP S搭載の



スマートキーを自転車に取り付けることで、1台の自転車を複数人で共有するシェアサイクルサービス。大和ハウスパーキングは、駐車場の空きスペースをシェアサイクルポートとして提供するとともにシェアサイクルポート用地の新規開拓を担い、まずは京阪電車の4駅を含む京都市内22カ所のシェアサイクルポートに約100台のシェアサイクルを設置。今年中に京都市内50カ所のシェアサイクルポートに500台の自転車を設置し、京都市内の交通渋滞緩和が期待される。

**企業レター**

ツールのブランド「ど新規分野への取組の広告主への導入な」みの成果で、18年12

月期は収益上振れも観測されている。

**公開価格9.7%上回る**

**ラクスルの初値**

**住友大阪は自社株買い**

# 25日移動平均線に注目

## 世界の株式市場も調整局面

### 国際テクニカルアナリスト 武蔵 宗久 氏

日経平均は、今年1月23日の高値2万4124円から3月23日の2万617円まで立会日数41日で3507円下落した。下落率は約15%であった。

その後反転し5月21日の2万3002円まで38日間で2385円上昇した。(下落日数と上昇日数が約2カ月に注目)また、もどり率は68%であった。これはエリオット波動理論の重要なもどりの限界であり、当面の相場は調整相場が続く可能性が高い。

その間の日経平均の25日移動平均線を検証すると、昨年9月以降上昇曲線を描いていたが、今年2月5日の2万2682円から下降の曲線に変化し、2月21日には75日線を上から下へ突き破りデッドクロスした。

その後、日経平均の25日線は、4月6日の2万1391円で上昇の曲線に変化した。この時点で注目すべきは、当日の200日線の上昇曲線が2万1367円であって、わずかに24円上から下にクロスせず、25日線が上昇曲線へ変化したことで、日経平均の上昇に弾みがついた。

その後、25日線は5月21日の高値から1000円程度下落しており、25日線が下降曲線に明らかに変化した場合、調整相場が長く引く可能性がある。

## 相場展望

世界各国の株式市場においても5月半ば以降、調整相場に変化しており、先進国およびBRICSの国々の株式市場は、現在下落基調になっている。

## 日本通信急騰し高値

### 金融庁FinTech実証実験案件に

週末1日、日本通信(9424)が急騰、年初来高値を更新した。スマートフォンで安心・安全な金融取引を実現するFinTechプラットフォームに関する、群馬銀行(8334)、千葉銀行(8331)、徳島銀行、マネーフォー



日本通信の日足チャート

## 今週の動意銘柄

1日、トヨタ自動車(7203)が大幅続伸。ドル円が109円10銭台の円安水準に振れたことで、自動車をはじめ輸出セクターは採算改善期待から買戻しが優勢になったが、通期の為替レートが1ドル1105円で設定しており、収益上振れ期待が高まった。自動車関税への警戒感から、10日足らずで10%以上の急

## トヨタ円安で大幅続伸

ド(3994)、サイバートラストの6社共同で実証実験を行うと発表したことを材料視。この案件は金融庁の「FinTech実証実験ハブ」の支援案件として決定している。

**アステラス自社株買い**

1日、アステラス製薬(4503)が

続伸、年初来高値を更新した。上限600万株(発行済株式総数に対する割合3.04%)、または総額1000億円の自己株式取得枠の設定を発表したことが材料視された。取得期間は6月1日から9月20日までで、大きなインパクトとなっている。

## ケンウッドは希薄化

落となり、PERは10倍を割り込み、値ごろ感や割安感からも買い気が強まった。

1日、JVCケンウッド(6632)が大幅安。新株予約権を発行し、約90億円の資金調達を行うと発表したことが嫌気された。将来的に権利行使されれば、株式の希薄化への懸念が高まる。

## 潮流

## イタリア・ショックは一時的

## 短期大幅下落は押し目買い好機

marKet/bAnk

イタリアやスペインの政局混迷をきっかけに、世界的に株式への売り圧力が強まっている。

5月29日の欧米のマーケットは大荒れとなった。イタリアやスペインの主要株価指数が2%以上、米ダウ平均も一時500ドル以上急落した。イタリア株価指数(FTSE MIB)は5月7日の高値である2万4544ポイントから29日の安値の2万1350ポイントまで13%急落した。

ポピュリズム(大衆迎合主義)政党である「五つ星運動」と極右政党「同盟」がマッタレウラ大統領主導の実務者内閣を拒否、早期の再選挙を要求した。早ければ7月29日に再選挙が実施される可能性がある。イタリア国債が急落し、利回りが急上昇した。イタリア2年債の利回りの1日の上昇率は25年ぶりの大きさとなった。イタリアの中央銀行のビスコ総裁は、マーケットがイタリアに対する信任失墜の瀬戸際にあると警告した。

エスプールの日足チャート



河合楽器の日足チャート



かねないシナリオを想定以上の速さで織り込みにいっているのだろう。イタリア国政再選挙では、「五つ星運動」と「同盟」がさらに議席を増やしそうだ。

ただ、ポピュリズム政権が樹立された場合、

欧州連合(EU)や欧州中央銀行(ECB)がなんらかの形で対抗策を講じることができる。そうした動きが見えてくれば不透明感の払拭から、世界的に株式市場は戻りを試すだろう。イタリアの金利上昇で財政が悪化する不安という点では、米長期金利の上昇を引き金に相場が波乱に見舞われた今年2月と共通する。ヘッジファンドは財政悪化による悪い金利上昇を売り材料にしている。5月30日の日経平均株価は一時、2万2000円の大台を割り込んだ。「イタリア・ショック」が走ったことでヘッジファンドは「日経平均V1指数買い・円買い・225先物売り」のプログラム売買を拡大させた。

ただ、これまでも欧州政治リスクが高まる局面は何度もあったが、次第に解消されていった。今回も一時的なもので落ち着きを取り戻すだろう。短期的に大きく下げれば、押し目買いのチャンスだ。

潮流銘柄はエスプール(2471)、河合楽器(7952)、ビジョン(9416)。

にて約1万人の参加者の中から優勝。直近では2017年1月に始まった夕刊フジ主催の「株・1グランプリ」において優勝。1カ月間における3銘柄の合計パフォーマンスでは155%と断トツの結果。週刊現代、週刊ポスト、夕刊フジ、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行う。現在、個人投資家に投資情報サービスを行う。<http://marketbank.jp>



岡山 憲史氏(株式会社マーケットバンク代表取締役)のポートレート

ポピュリズムには対抗措置

# チャートから読む 騰落銘柄

## 三精テクノ (6357)



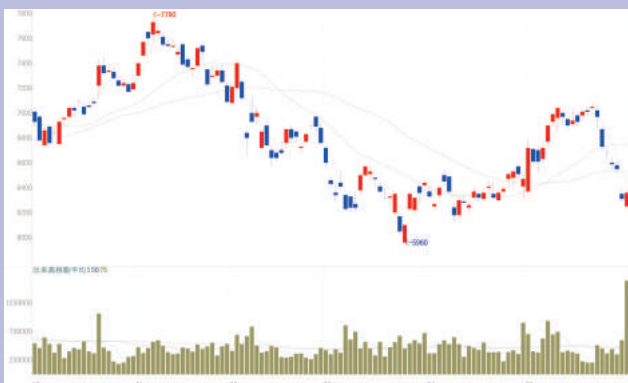
5月8日の1510円を高値に値を崩し1200円台での底値揉み合いを継続していたが、31日は出来高増から動意付く気配。テーマパーク向け案件や人型変形ロボットで話題、1500円までの戻り期待。

## ルネサンス (2378)



約1年におよぶ高値保ち合いを上放れ、青空相場を一段高へ進む。日足、週足が陽転、大勢上昇トレンド確認のあと、5日線が鋭角的な右肩上がりの上昇に転じ、好業績、好取組をテコに噴き値局面に近い。

## 豊田自動織機 (6201)



5月22日の7080円を高値に6200円台までスピード調整。6000円を割れば3月26日の年初来安値5960円が視野に入る。原材料コストが一段と上昇する見通しで19年3月期減益予想が重石。

## スター精密 (7718)



1月に年初来高値2480円を付けてから調整が長引き、週足が陰転。その後も13週線に上値を抑えられ、12カ月移動平均も割り込む。当面下値抵抗帯の1800円割れ水準での下げ止まりがポイント。

※チャートは日足



今週の

# 活躍期待銘柄



東映 (9605)

## 今期減益予想も上振れ期待

東映(9605)の株価は5月1日の年初来高値1万2500円を付けた後に調整していたが、50日移動平均線を割れたところで底堅さを見せている。全般急落時でも落ち着いた動きを続けており、貸借倍率0.38倍から時価近辺は見直せそうだ。

前18年3月期の利益は東映アニメーションでの費用増などで前の期比でほぼ横ばい、19年3月期も連結営業利益で136億円(前期比22.1%減)と減益を見込んでいる。ただ、アプリゲームでは、「ドラゴンボールZ ドッカンバトル」などの既存タイトルがグローバルで版權収入が拡大しており、「ドラゴンボールレジェンズ」など新作タイトルの好調からも先行き収益上ブレ期待が高まる。映画「ドラゴンボール超」も海外からの劇場上映権収入が寄与していきそうだ。

ドラゴンボール関連が好調



東海カーボン (5301)

## 18年12月期営業利益5.7倍

東海カーボン(5301)は2月に付けた上場来高値を上抜き、新境涯に入った。黒鉛電極市況上昇による急ピッチの業績拡大が株価急騰の原動力で、5月8日の第1四半期決算発表時に続き、28日にも18年12月期通期予想を上方修正、現段階で連結売上高2040億円(前期比92.0%増)、営業利益657億円(同5.7倍)、最終利益686億円(同5.8倍)を見込む。

黒鉛電極は米国鋼材需要回復や中国の環境規制強化に伴う電炉稼働率向上により需要が急拡大、需給ひっ迫状態が続いており、拡大と値上げが進んだ。さらに、韓国TKK連結子会社化による売り上げの上積み、特別利益を織り込み、5月に入ってから2度にわたって通期予想を増額。最高値ながらPERは6倍台と強い割安感が強き、一段の収益上振れも期待される。

PER6倍で一段の上振れも

# 6月中旬から本格反騰

後には戻り待ちや月末の整理売りなどがたまために上げ幅は縮小しましたが、後場にはその売りも一巡して再び上値を追い、2万2200円をかるうじて回復して終えました。

5月最終週はイタリヤの政局不安が欧米株式市場を直撃し、5月30日の日経平均は寄り付きから大きく売られました。下げ

# 高野恭壽の株式情報 これでどや!!

株式市場新聞の名物コーナーが復活!



**高野恭壽(たかのやすひさ)氏** 1949年生まれ、大阪府出身。株式市場新聞大阪支社長、株式新聞社大阪本社代表を経て株式評論家として独立。講演会のほか、ラジオ大阪「タカさんの新鮮・株情報」をはじめTV、ラジオに多数出演。「株式投資30カ条」など著書も執筆。

30日に米国株式がほぼ前日の下げを埋めるほどの反騰をみせましたので、それを好感して31日の日経平均は寄り付きから大きく反騰して始まりました。買い一巡

## 月末までに2万3000円台へ

6月相場はまず、日米首脳会谈が7日に予定されています。米朝会談前ですので、通商問題の話し合いはないとみられます。拉致の解決要請に止まりそうです。そして中旬にはFOMCで政策金利を0・25%の引き上げが実行されそうです。米朝会談も予定されており、SQ後にはこれらの影響で大きな動きは難しくそうです。それが終わって中旬から本格的な戻りに向かいそう

です。月末までに2万3000円台の回復を見込んでいます。**日本板硝子(5202)**、**双日(2768)**は戻っていくとみられ、一服していた**アイフル(8515)**にも出番が回ってくることでしよう。**東洋機械金属(6210)**の戻りが鈍いですが、陰に極状態であり、遅かれ早かれ戻すとみています。強気を予想しています**東洋炭素(5310)**は更に上値を窺いそうです。**大紀アルミニウム工業所(5702)**は底値を固めて戻りに入りそうです。**新田ゼラチン(4977)**も引き続き注目です。**テックファームホールディングス(3625)**が先高暗示の動きです。**住友化学(4005)**、**タクマ(6013)**に加えて今回の狙いは**GSユアサ(6674)**、**マルハニチロ(1333)**、**島津製作所(7701)**です。



# 星野三太郎の 株街往来

この数週間、様々なメディアで話題の中心だったのが日大アメフト部の危険なタックル問題。危険なプレーの指示については監督は否定し、指示された選手は顔出しで自ら会見する事態となり、筆者の周囲では普段スポーツに興味がない知人ともタックル問題が話題になるほど多くの人の関心が高かった。今回の問題の本質をこの欄で語るほど字的余裕はないが、やはり、問題発覚後に大学側が早急に会見を開かないなど、事後対応が後手後手に回ったことは最悪だった。学長の会見は5月25日に行われたが、これも周囲の声に押されて行った印象を受けてしまった。これでは大学全体のイメージ自体も悪くなるので、就職活動する学生も気持ちよく動けないだろう。

今回の問題で思い出したのが近畿大学のボクシング部の不祥事。部員2人が強盗容疑で逮捕され、大学は即刻廃部を決定した。事件当時は、名門といわれたボクシング部を廃部までする必要はないとの論調もあったと記憶する。単純比較はできないが、当時のことと比較すると今回の対応では、事態は簡単収束しないと感ずる。色々と考えさせられる問題だ。



## 企業レター

### 所蔵する7件の雪村作品

近鉄GHD

#### 大和文華館で一挙公開!



「呂洞賓図」雪村筆（大和文華館蔵）

近鉄グループホールディングス（9041）の文化事業である大和文華館（奈良市学園南）では、5月25日から7月1日まで、「大和文華館の水墨画・雪村作品一挙公開！」

「」を開催している。大和文華館の水墨画コレクションは、可翁、愚谿に代表される初期水墨画の画家に始まり、周文、文清、雪舟、雪村、狩野元信、尾形光琳、伊藤若冲、浦上玉堂など、水墨画壇を彩る画家たちの作品が所蔵されている。今回の展覧会では、近年「奇想の画家」として再評価が進む雪村の作品を、所蔵する7件全て同時に公開するとともに、館蔵水墨画の名品を展示し、日本絵画史において重要な水墨画の流れをたどる。

### ハリマ化成G

## 「パイオニア・アワード」受賞

### 全米印刷インキ工業協会から



ジョン・キャッシュディ氏（写真右）

ハリマ化成グループ（4410）は、米国カリフォルニア州ソノマ郡において、開催された印刷インキ事業者団体「全米印刷インキ工業協会」（NAPIM）の年次会議で、同社の子会社であるローター社営業課長、ジョン・キャッシュディ氏が「パイオニア・アワード」賞を受賞したと発表した。

「パイオニア・アワード」賞はNAPIMが優れた事業者を会期中に表彰する制度で、長年に渡る献身的な取り組みがNAPIMから高い評価を受けたとしてローター社のような原料サプライヤーが、このような名誉ある賞を贈呈されるのは珍しいケースで、「この輝かしい賞の受賞者になれたことは、私にとっての最大の名誉。素晴らしい方々と共に働くことができたことが私の喜び」とキャッシュディ氏は語っている。

敏腕先物トレーラー

# ハチロクの裏話

先はリバウンド相場が期待できると思われ。

## SQ週で乱高下に注意

### 目先はリバウンド期待だが…

揺れる米朝首脳会談や再燃する欧州の経済不安、米国が仕掛ける各国への貿易摩擦問題、国内では加計問題で揺れる安倍政権など、株価に与えるマイナス材料を上げると枚挙に暇がない。しかし、昔からデイトラーの先輩に言われていた事がある。「悪材料を10個以上上げられれば、その時は目先底値圏である」と。

「sell in may and go away」(5月に売ってどっか行け)の諺通り、5月21日の高値2万3050円39銭から5月30日の安値2万1931円65銭まで7日間で約1111円下げた。しかし、悪材料は10個以上上げられる、目下は「将来買

チャートの下は、2万2491円が目先のターゲットとなる。この水準は一目均衡表の転換線(2万2490円)が位置する。過去3カ月、この転換線が上昇トレンドの下値抵抗ラインとして機能していたが、現在はこのラインが上値抵抗線として意識されている。この水準を明確に抜けてくるかが焦点となる。終値で抜けてくると、再び上昇トレンド入りとなる。

ただ、今週はメジャーSQ週である。先週この欄でも書いたが、ヘッジファンドの売り平均コストは2万3000円と見られていた。今回の下落でコストは大幅に改善していると思われ、週の後半にかけて仕掛ける可能性は高く、注意は必要である。ヘッジファンドが「将来買

日経225先物日足チャート



## 今週のスケジュール

- 1日 アジア安全保障会議(～3日シンガポール)  
米5月雇用統計(21:30)  
米5月ISM製造業景況指数(23:00)
- 4日 5月マネタリーベース(8:50)
- 5日 4月家計調査(8:30)  
10年国際入札  
米5月ISM非製造業景況指数(23:00)
- 6日 4月毎月勤労統計調査(9:00)  
米4月貿易収支(21:30)
- 7日 4月景気動向指数(14:00)  
5月都心オフィス空室率
- 8日 1-3月期GDP改定値(8:50)  
4月国際収支(8:50)  
5月景気ウォッチャー調査  
メジャーSQ算出日  
中国5月貿易収支  
G7首脳会議(～9日カナダ)

には特に注意したい。下値メドは30日の安値2万1931円、割れてくる幅の半押しで2万1698円がターゲットと見られる。(ハチロク)

「アンセクト」を「存じだろるか。昆虫食のことでフランスではすでに一般的な食品になっている。昆虫はたんぱく質が豊富なので、牛や豚よりも成長が早く、飼育が簡単でコストもかからない。来るべき食糧危機に備え、見直す動きが広がっているらしい。イナゴの佃煮など日本を含め、アジア、米州、アフリカ、オセアニアなど昆虫食の歴史は古い。パスタやスナック、チョコなど新しい食べ方が人気を呼んでいるという。関連銘柄も推奨しており、関

## 編集後記

【ご注意】証券市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測的的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被りたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。